

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束等を現在も全く行っていないが、新しい職員も増え、職員の知識、認識に差が出てきている。意識なく、行ってしまう可能性もあり得る。	社内研修、外部研修を通じて職員の身体拘束に関する知識、技術のベースアップを図り、利用者支援につなげる。	社内委員会の構築、社内研修の実施、外部研修の派遣を行う。	6ヶ月
2	13	避難訓練の内容がまだ初歩で、夜間や消防署を含めた訓練などができていない。	消防署を含めた避難訓練の実施や夜間等の実施を行い、より内容を充実させいざというときに対応できるスキルを養う。	消防署を含めて、避難訓練の計画を詰め、より高度な内容にして実施する。	12ヶ月
3	6	ご家族に対する日頃の様子の開示が少ない。特に来訪頻度の少ないご家族に対して、写真や広報が少ない。	日々の暮らしの様子がよくわかるように広報し、相互理解を図る。	来訪時に記録を必ず見ていただく。電子メールの環境をすべてのご家族と整え、随時写真等を配布できるようにする。現在、半数の利用者とは医療に関しての双方向オンラインシステムで随時連携できているが、全利用者に広げる。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。